



伊豆山

約 4 Km

函南町

熱海 →

丹那
盆地

メガソーラー建設予定地



← 2万4千トン容量の調整池を計画

← 丹那沢 (砂防指定地)

← 丹那小学校





ホーム > 交流・まちづくり > 河川・港湾 > 交通基盤部河川砂防風砂防護ホームページ > 土砂災害情報マップについて

更新日：令和元年6月5日

土砂災害情報マップについて



こちらは「静岡県GIS」へのリンクとなっています。個別の土砂災害情報マップを閲覧する場合は下記リンクをご利用下さい。

土砂災害情報マップ（ボタンを押すと、それぞれのマップが別ウインドウで開きます。）

土砂災害危険箇所マップ

大雨や地震のときなどに土砂災害が発生するおそれのある箇所が閲覧できます。

土砂災害警戒区域・特別警戒区域マップ

土砂災害防止法に基づき指定された区域が閲覧できます。

(2018年11月27日 表示時点)

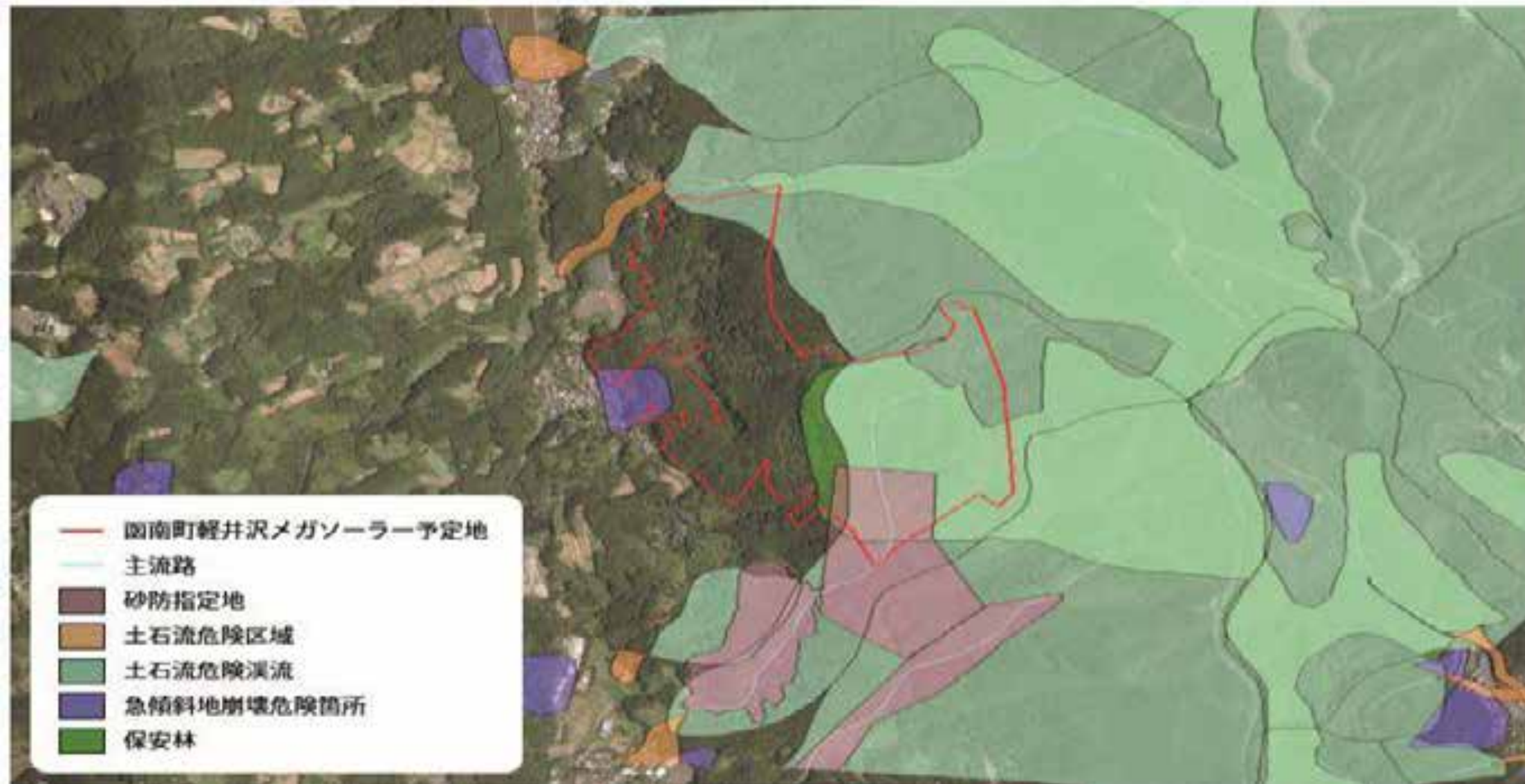
指定区域（砂防三法）マップ

「砂防法」「地すべり等防止法」「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」の3つの法律に基づき指定された区域が閲覧できます。

函南町軽井沢メガソーラー建設計画予定地に於ける災害危険箇所・指定区域等

主流路、砂防指定地、土石流危険区域、土石流危険渓流、急傾斜地崩壊危険箇所、保安林。

静岡県HP「ハザードマップ」から転載



丹那沢 (砂防指定地)

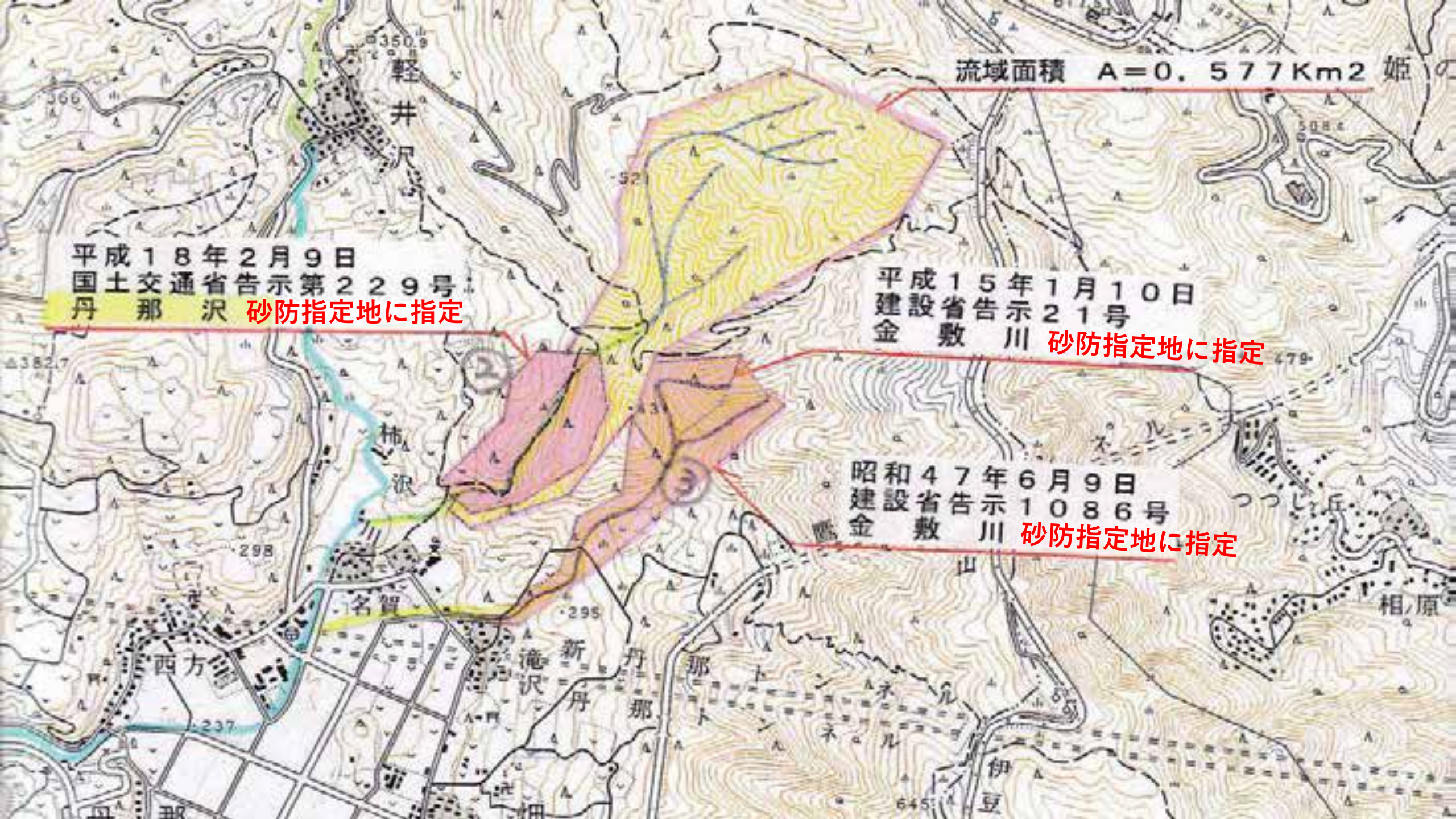


流域面積 $A=0.577\text{Km}^2$ 姫

平成18年2月9日
国土交通省告示第229号
丹那沢 砂防指定地に指定

平成15年1月10日
建設省告示21号
敷川 砂防指定地に指定

昭和47年6月9日
建設省告示1086号
敷川 砂防指定地に指定



砂防指定地指定方針

平成 17 年 11 月 25 日

4 丹那沢

今回の指定は、砂防えん堤より上流域について面指定するものです。残流域については、地権者の理解が得られていないため今回指定対象といたしませんが、今後理解が得られ次第指定する予定です。

また、指定予定箇所から下流については、一級河川柿沢川との合流点まで水路として整備され、函南町により適切に管理されていますので指定対象といたしません。

町は50年に一度の
雨量104ミリ/h
の基準で指導している。

面積
約65ヘクタール
太陽光パネル
10万枚以上
調整池の総量
約4万5000トン
専門家の意見
総量約1万トン不足

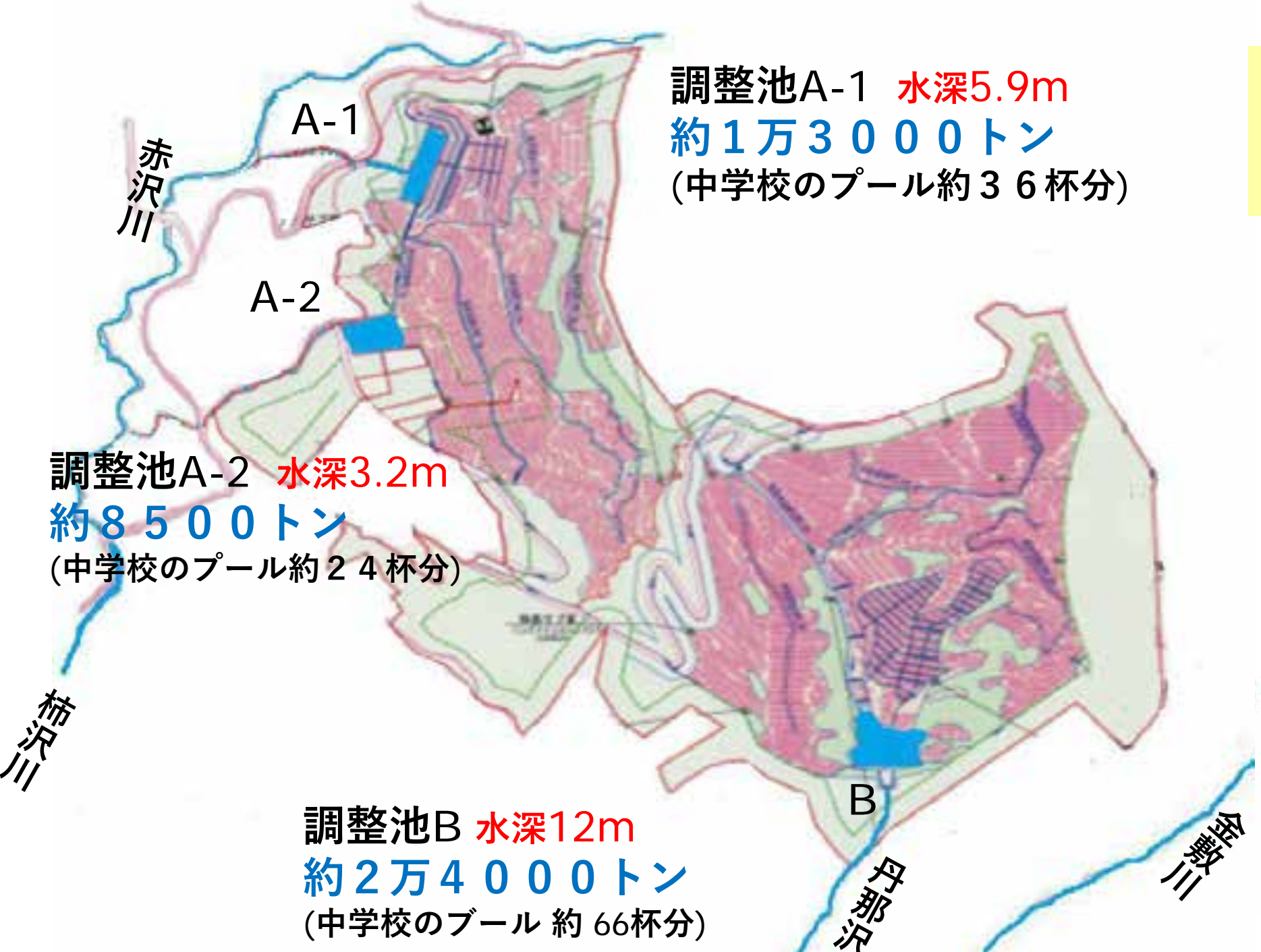
地震
丹那断層
不等沈下
豪雨等
表層崩壊
土石流
危険性(大)



調整池A-1 水深5.9m
約1万3000トン
(中学校のプール約36杯分)

調整池A-2 水深3.2m
約8500トン
(中学校のプール約24杯分)

調整池B 水深12m
約2万4000トン
(中学校のプール約66杯分)



国土地理院の断層地図から調整池Bの直下に活断層の存在を確認





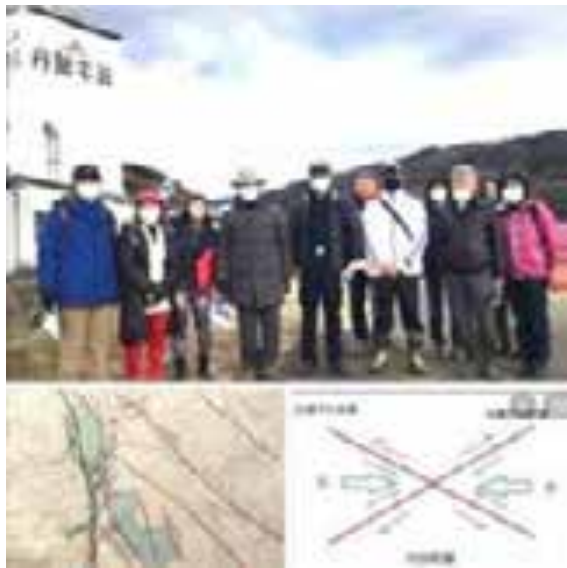
塩坂 邦雄さん
2020年12月16日



函南町軽井沢メガソーラー予定地の調査を、住民の人たちと行いました。

当該地域は、丹那盆地の北東の南西斜面で、西には北伊豆地震に活動した、地震断層(丹那断層)があり、それから伸びる共役断層が無数に走っています。開発面積は65ha洪水調整量は65,000トン25mプール135杯分が山中に貯留される事になります。調整池の堤体の直下に活断層が存在し大変危険な計画である事が判明しました。

基盤の地質は、箱根火山軽石流堆積物(安山岩巨礫を含む)の上部に不整合に、新規火山噴出物(スコリア・ローム)が堆積し、この境界面から崩壊が見られました。参加した皆様の真剣な行動には、心が打たれました、急傾斜地ではそっと支えていただき、ありがとうございました。



台風19号

2019年10月12日

近隣の1メガ程度の太陽光発電施設が

いずれも崩落事故が発生！





静岡県函南町

田代

軽井沢

丹那盆地

CS 函南町発電所 (田代背戸山)
面積 1.2 ヘクタール
台風 19 号により、新聞記事に
なるほどの土砂崩れ発生

410m

1,650m

丹那奥中野ソーラー発電所
面積 0.6 ヘクタール
台風 19 号により土砂崩れ発生

函南町軽井沢メガソーラー計画地
面積 64 ヘクタール

丹那奥中野ソーラーの 100 倍の面積
CS 函南町発電所の 50 倍の面積

静岡県熱海市

生活道路に土砂



土砂などが溢出し通行止めになった生活道路
=13日午前10時30分ごろ、富南町平井(本社ヘリ「シェリコ1号」から)

伊豆・東部 一部通行止め

台風15号の襲来から一度助けた13日、奥伊豆道路や新東名高速道路など主要幹線道路、1号東海道路新幹線、東海線といった鉄道が順次復旧した。県内の大動脈に人や車の流れが戻ったが、長く続いた通行止めの解除に伴う渋滞や電車の遅延も発生し、混乱が続いた。一方、伊豆市の開成町海大の堤や富南町の奥道筋堤防閉鎖など伊豆、東部を中心に一部道路では、土砂崩れや浸水に伴う通行止めが続いている。

